

金融リテラシー講演会を実施しました。

令和7年2月17日（月）6時間目「総合的な探究の時間」に、1年生・2年生、合計約300名が参加して、金融リテラシー講演会を実施しました。

令和6年7月に、茨城県教育委員会が、茨城県内5金融機関（常陽銀行、筑波銀行、水戸信用金庫、結城信用金庫、茨城県信用組合）と金融教育にかかる包括連携協定を締結しました。本校担当の水戸信用金庫の営業統括部地域活性化室の副調査役の中川しのぶ様を講師として金融教育に関する講演会を実施しました。

講演会のテーマは、生徒が高校卒業後に、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要なお金に関する知識や判断力を学ぶために「金融リテラシー」としました。

初めに、水戸信用金庫の概要や地域との関わりについて説明。地域との関わりでは、笠松運動公園陸上競技場のネーミングライツ導入、水戸黄門漫遊マラソンの特別協賛などについて説明してくださいました。

次に、1. 貯蓄から投資へ、2. 投資信託の特徴とNISAについて説明。「資産形成の必要性 低金利、物価上昇」「貯金と投資のメリット、デメリット」「投資とギャンブルの違い」「リスクとリターンの関係」「NISA（ニーサ）の制度概要」「資産形成のポイント①積立、②長期、③分散」などについて、資料をもとに、わかりやすく説明してくださいました。

現在、水戸信用金庫では、8名の本校のOB・OGが働いているそうです。

質疑応答では、生徒から「NISA以外にお得な制度はありますか」の質問に、中川様から「iDeco(イデコ、個人型確定拠出年金)があるが、制度が難しいので、まずはNISAから始めるとよい」と回答がありました。

また、「高校卒業後の就職先に水戸信用金庫を選んだ理由を教えてください」の質問に、卒業生から「求人は、製造業が多いが、お客様と直接かかわる仕事で、自分を成長させたいと思ったから」と回答がありました。

最後に、2年生の齋藤竜彦さんが「今日の講演会で学んだことを生かして、金融リテラシーの意識を高めていきたいと思います。講演をありがとうございました」と生徒を代表して謝辞を述べました。

～講演会のようす～

